

# 広報 いまり

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和53年4月1日 伊万里市役所総務部企画課発行

No. 290



東山代町脇野の県指定無形文化財「大念仏踊り」  
です。

NHK「九州'78」、「生きている松浦党」での山  
寺口ケで録画され4月13日放映されます。

(3月12日 山ン寺にて)

'53

4 月



# 最終予算は総額105億852万円

## 昭和52年度一般会計

昭和52年度一般会計の最終予算は、3月定例市議会で歳入歳出それぞれ1億7,110万円を追加し、総額105億852万円になりました。

今回の補正は、昭和52年度最終補正で、補助事業の認承決定に伴う事業費や国県支出金など全般にわたり補正を行いました。

その主なものは次のとおりです。

**総務費**は、事務用品や燃料費光熱水費などの経費節約による不用額514万円を減額し、市庁舎敷地購入費の支払いに7,000万円、福島町からの指定寄付による浦の崎地域振興整備補助金として321万円、市民会館の避雷針設置工事費120万円などを追加しました。

また、伊万里津歴史公園建設資金として、前田知佑氏から寄付をいただいた100万円を財政調整基金へ積立てすることにしました。

**民生費**では、まず社会福祉費で在宅重度心身障害者福祉手当などの不用額423万円、高齢者医療扶助費などの不用額2,850

万円、地方改善施設整備事業（向山地区下排水路整備工事など3か所）の認承減による1,322万円などを減額し、同和对策の大型共同作業場運営費補助100万円、佐賀県解放会館建設費負担金270万円などを追加しました。

また、児童福祉費では、東山代町の長浜保育園と山代町東分のみどり保育園の建設補助金として384万円、土地開発基金で先行取得していた伊万里保育園用地買戻費698万円を追加しました。

生活保護費では、生活扶助費の1,689万円追加、医療扶助費の4,869万円減額などです。

**衛生費**は、日本脳炎・インフルエンザの予防接種費用363万円が法の改正に伴い不用になったため減額、伊万里有田地区准看護学院ならびに医師会館建設費の52年度補助金500万円、二里町福母の簡易水道施設整備事業費補助金381万円などを追加しました。

**労働費**は、677万円の減額で一般失業対策事業の就労率減に

よる不用額207万円、炭鉱離職者緊急就労対策事業の計画変更に伴う不用額など394万円、特定地域開発就労事業費の物件移転補償費などの不用額76万円などです。

**農林水産業費**は、1,976万円を追加し、総額14億2,613万円になりました。

まず、農業費で農業構造改善事業計画変更による不用額1,512万円、緊急粗飼料増産総合対策事業の認承減による補助金625万円などを減額し、今後の農業振興の拠点として建設された南波多・大川農協会館建設に対する補助金970万円、昭和53年度水田再編対策の生産組合転作集団促進費補助金441万円、転作などの地域推進費補助金241万円、麦作の条件整備や作付面積増加を図る集団育成対策事業費補助に1,457万円、温州みかんの生産過剰対策として改植等促進緊急対策事業補助に396万円広域営農団地農道整備事業など県営事業費負担金619万円を追加しました。

林業費で、森林病虫害防除事

習慣というものは時代と共に変遷し、また変遷しなければならぬが、また良い習慣はそれを引きつぎ育ててゆくことも大切である。日本の習慣で今一つ昔に返してもらいたいものに先祖のおまつりがある。春分の日のおまつりをしたがる人がほとんどいない。昼の長さや夜の長さが同じだけでは休日の意味はなく、何か祖先を祭る意味の言葉が春分の日に欲しい。日本では宗教の慣習が個人の中に自発的宗教心をおこすまでにはいたっていない。そこでまず先祖まつりの習慣を復活して子供達の身につけさせることが必要でそこからやがてその人それぞれに宗教心が芽生えてくることになる。いろいろな社会悪の起りやすい今の世の中を立て直すには地域づくりをする以外に手だてはなく、しかもその背後には宗教心が必要である。なぜならば宗教心のある限り人の言動にまどわされず、いかなる場合もくじけないからである。



業補助が制度改正で148万円を減額、過疎基幹林道建設事業路線確定による補償費の197万円森林組合の育成、指導強化を図るための活動費補助金150万円などの追加です。

水産業費は、伊万里湾漁業被害救済基金として、企業・漁協から寄付をうけて拠出するための出損金823万円を追加しました。

商工費では、商店街近代化事業資金利子補給補助金などが、借入時期や申込額の変更による不用額243万円、中小企業振興資金貸付金信用保証料補填金の不用額264万円などを減額し、佐賀県信用保証協会出損金130万円、伊万里駅前通り商店街高度化事業補助金65万円などを追加しました。

土木費は、県営による道路新設改良事業費負担金444万円、同じく県営事業伊万里駅前線の負担金900万円、土地開発公社などが先行取得した八谷棚臨海用地買戻の3,899万円と国見台公園用地691万円などの追加です。

消防費は、消防団員の退職報償金や出動報償金などに256万円を追加しました。

教育費では、小中学校費で、要保護・準要保護就学児童の対

象数減による不用額465万円を減額し、東山代小学校運動場敷地購入費183万円、黒川幼稚園教室整備に45万円などを追加しました。

災害復旧費では、国庫補助事業費の決定に基づく調整を行い農地災害復旧費370万円、農業用施設災害復旧費334万円を減額し、土木施設災害復旧費に76万円を追加しました。

公債費は、長期債償還金の決定に伴い元金18万円および一時借入金利子2,130万円を減額しました。

諸支出金では、土地開発公社などが先行取得した新天町駐車場用地の買い戻しに要する経費8,140万円、水道事業への高料金対策としての補助金1,000万円、病院事業運営に対する補助金2,207万円を追加しました。

なお、昭和53年第1回定例市

議会において審議・可決された新年度の重点施策と予算のあらまは、広報いまり特集号でお知らせします。

### 広報こよみ

- 6日 春の全国交通安全運動 (~15日まで)
- 8日 花まつり
- 11日 交通事故相談(生活相談課)
- 13日 市長選挙・市議会議員補欠選挙の告示
- 20日 法律相談(生活相談課)
- 23日 市長選挙・市議会議員補欠選挙の投票日
- 25日 交通事故相談(生活相談課)
- 29日 天皇誕生日
- ※ なお、今月の「市民ロビーで市長と会う日」は休ませていただきます。

## 大川内山の鍋島藩窯跡

### — 国の史跡指定に答申される —

国の文化財保護審議会は、文化庁に対し、「秘窯の里、大川内山の「鍋島藩窯跡」を国の史跡指定にと答申しました。

これはさきに市が県を通じて史跡指定を申請したもので、告示は6月頃になる予定です。

市は過去5次にわたって藩窯跡を発掘、登り窯跡や細工場藩役宅跡などを調査し、藩窯の歴史を解明してきました。

国の史跡指定が正式に決まれば、国の補助による史跡の保護や環境整備がすすめられます。



米の減反問題で学校給食に米飯をふやすことにしているが、給食自体では期待する程の消費量にはならないにしても、そのねらいは米を食べる習慣を身につけることにある。

日本はその風土から見て米の生産に適し、また国際的自給食糧の分布からも、主食は米とすべきで、それだけに米の需給のバランスがとれなければ大変なことになる。

昨年九十万トンの調整量が今年一挙に百七万トンになったのは、米の生産で四十万トンふえたばかりでなく、消費がまた同じ四十万トン減っている。

国は米の減反ばかりに力を入れてはいるが、その量からすれば同じ力を消費の拡大にもむけてもらわねばならないことになる。

そこで米を食べる習慣が問題になる。



春の全国交通安全運動  
**人命の尊重をテーマに**  
 4月6日～15日

「春の全国交通安全運動」が4月6日から4月15日まで10日間展開されます。運動期間中だけでなく、一人ひとりが安全運転・安全通行を心がけたいものです。

●歩行者、自転車利用者、子どもと老人特に新入学（園）児の交通事故防止

▲老人や子どもなどが通行していたら必ず徐行または一時停止してください。

▲老人は動作がにぶく、交通法令を知らなかったり守らない人もあり、うっかり横断します。

老人は動作が鈍い



町別飲酒運転検挙者数

(53, 2, 28現在 伊万里警察署調)

町名	1月	2月	計
伊万里	6	7	13
黒川	0	4	4
波多津	1	0	1
南波多	0	4	4
大川	1	0	1
松浦	1	0	1
二里	0	0	0
東山代	1	0	1
山代	1	0	1
(市外)	4	16	20
計	15	31	46

●飲酒・暴走運転の追放

▲酒を飲んで車を運転してはならないことや飲酒運転事故の恐しさはだれでも知っているはずですが、ところが、いつまでたっても後をたちません。

▲酒を飲んだら絶対に運転しないという強い意志と習慣を身につけたいものです。

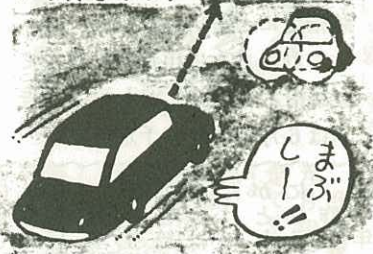
酒を飲んだら絶対にハンドルを握らない



●夜間における交通事故の防止

▲視界が悪く道路上の障害物なども見えにくくなりますので特にスピードをおとして慎重な運転をしてください。

対向車の前照灯から目をそらす



●シートベルト着用の推進

▲シートベルトを着けていたことで死亡事故が防げたケースがたくさんあります。

▲運転する前に必ず着けましょう。

交通事故につながる  
 子どもの行動の特徴

子どもの交通事故の中には、大人ではとても考えられないようなカタチでおこる例がたくさんあります。

●一つのことに夢中になるとまわりの物が目に入らなくなる。

▲道路で夢中になって遊んでいて、車が近づいても気がつかない。

▲ボールを追っかけて、いきなり道路に飛びだす。

ボールを子供とごってください



▲道路の反対側から、親や友達に声をかけられたり、手を振って合図されると、いきなり車道へ飛びだす。

●物事を単純にしか理解できない。

▲自分がき色い旗を持っていたら、車はいつでもとまってくれると思こむ。

▲走っている車が止まるためにどのくらいの距離が必要なのかがよくわからない。

●物かけで遊びたがる。

▲駐車中の車の下にもぐりこんだりして遊ぶ。

▲大きなダンボール箱にかくれたり、入って遊ぶ。

ゆっくり  
 走ろう



# 1年間で救急出場699回

## 昭和52年の救急統計

市消防本部は、このほど昨年1年間の「救急統計」をまとめました。

総出場は699件と前年に比べ58件・9パーセント増え搬送人員も684人にのぼっています。

トップは急病出場の293件、

次いで交通事故171件、一般負傷99件、労働災害26件、運動競技14件などの順です。

特に、交通事故で被害を受けた192人もの人を搬送しています。

昭和50年と比較すると、出場

## 市の人口

(3月1日現在)

総人口	61,335人
男	29,080人
女	32,255人
前月比	-19人
世帯数	16,037世帯

件数で145件、救急件数は140件増加しています。

昨年の救急出場を月別に見ると10月が一番多く84件、6月と8月が69件、少ない月で1月と2月の45件となっています。

年平均、毎日2回は出場していることとなります。

また、このほかにもケガしたけれどもう大丈夫ですからといった不搬送が82件ありました。

## 昭和52年救急統計

事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	運動競技	自損行為	加害	水難	その他	不搬送
出場件数	699	293	171	99	26	14	9	7	3	77	82
救急件数	617	275	138	91	24	13	6	7	2	61	
搬送人員	684	276	192	98	24	13	7	8	2	64	

※その他の内訳(転院搬送・医師搬送・資器材搬送・その他)

### 犬の登録と狂犬病予防注射

昭和53年度畜犬登録および第1回狂犬病予防注射を下記の日程で行います。

最寄りの会場で必ず受けてください。

▲登録料 300円

▲注射料 700円

▲日時と場所〔4月〕

- 6日 9:30~10:00 西分公民館
- (木) 10:30~11:00 市農協山代西部
- 11:30~12:00 山代公民館
- 13:00~14:00 楠久公民館
- 14:30~15:00 峰公民館
- 7日 9:30~10:00 馬蛤潟公民館
- (金) 10:30~11:00 井野尾公民館
- 11:30~12:00 波多津公民館
- 13:00~13:30 黒川公民館
- 14:00~14:30 畑川内公民館
- 15:30~16:00 立目公民館

- 10日 9:30~10:00 立川公民館
- (月) 10:30~11:00 井手口公民館
- 11:30~12:00 大川公民館
- 13:30~14:00 大曲公民館
- 14:30~15:00 南波多公民館
- 11日 9:30~10:00 滝川内公民館
- (火) 10:30~11:00 大久保公民館
- 11:30~12:00 東山代公民館
- 13:00~13:30 脇野公民館
- 14:00~14:30 長浜公民館
- 15:00~15:30 作井手公民館
- 12日 9:30~10:00 市村公民館
- (水) 10:30~11:00 正力坊公民館
- 11:30~12:00 平尾公民館
- 13:00~13:30 下分公民館
- 14:00~14:30 松浦公民館
- 15:00~15:30 中通公民館
- 13日 9:30~10:00 築港公民館
- (木) 10:30~11:00 中通農業倉庫前
- 11:30~12:00 木起神社
- 13:00~13:30 木須東公民館
- 14:00~14:30 柳井町公民館

- 15:00~15:30 古賀公民館
- 14日 9:30~10:00 大里公民館
- (金) 10:30~11:00 川東公民館
- 11:30~12:00 東八谷楯公民館
- 13:00~13:30 元町公民館
- 14:00~14:30 西円蔵寺公民館
- 15:00~16:00 中央公民館
- 17日 9:30~10:00 市農協山代西部
- (月) 10:30~11:00 山代公民館
- 11:30~12:00 楠久公民館
- 13:00~13:30 東山代公民館
- 14:00~14:30 二里公民館
- 15:00~15:30 中通農業倉庫前
- 18日 9:30~10:00 波多津公民館
- (火) 10:30~11:00 黒川公民館
- 11:30~12:00 南波多公民館
- 13:00~13:30 大川公民館
- 14:00~14:30 松浦公民館
- 20日 9:00~10:00 中央公民館
- (木) 10:30~11:00 平尾公民館
- 11:30~12:00 柳井町公民館
- 13:30~14:00 立目公民館



投票日は4月23日(日)です

選挙特集

# 市長選挙 ← 選挙 ↔ 考えて書いた一票 明るい市政

## 市長選挙 市議会議員補欠

### 選挙こよみ

- 4月13日(木) 選挙期日の告示 立候補届出受付
- 4月13日(木) 選挙人名簿の縦覧(～17日まで選管事務局で)
- 4月14日(金) 立候補届出締切日
- 4月22日(土) 不在者投票締切日
- 4月23日(日) 投票日(午前7時から午後6時まで)
- 4月23日(日) 市民会館で即日開票(午後8時から)

任期満了による市長選挙と市議会議員(1人)の補欠選挙が4月23日(日)に行われます。私たち市民にとって最も身近かで大切な選挙です。一人ひとりが自覚し、善理、人情にとらわれずりっぱな市政をまかせられる人を選ぶため必ず投票しましょう。

#### 今度の選挙で投票できる人

昭和33年4月24日までに生まれた方で昭和53年1月11日までに住民基本台帳に登録され、引き続き市内に居住している方です。

もし入場券(3月20日ごろに配布済み)を受け取っていない方がありましたら市選挙管理委員会までお問い合わせください

#### 用事のある人は不在者投票を

投票日にやむを得ない用事などで投票できない人は、不在者投票をすることができます。

不在者投票は告示の日(4月13日)から投票日の前日(4月22日)まで、市役所1階東入口「税務課の横」の選挙管理委員

会事務局または各出張所でできます。

不在者投票する時は、投票日に不在であることを本人が申し出印かんまたは入場券をご持参ください。

#### 次の方は郵便で投票できます

身体障害者手帳(1級～2級)の交付を受けた方で両下肢の不自由な方、体幹の障害で座っておれない方、心臓・じん臓・呼吸器障害(1級～2級)の方は郵便で投票ができます。詳しいことは選管にお尋ねください。

#### 代理投票ができます

文字の書けない人は代って書いてもらえます。

投票を棄権することは大事な私たちの権利を捨てることです。明るく住みよい町にするためこぞって投票しましょう。

#### 投票は正確に

せっかく投票しても次のような場合は投票が無効になります  
▲決められた投票用紙以外のものを使ったとき

- ▲2人以上の候補者の名前を書いたとき
- ▲候補者でない人の名前を書いたとき
- ▲だれの名前を書いたのかわからないもの
- ▲白紙のもの

#### 投票の順序と投票用紙の色

市長選挙候補者を先に、市議会議員補欠選挙の候補者をあとで投票します。

投票用紙の色は市長選挙は白色、市議会議員補欠選挙が桃色です。

#### 投票所が一部変わりました

東山代第1投票所は伊万里市東山代公民館になりました。

#### 開票は

4月23日午後8時から  
伊万里市民会館大ホール

#### 市長選挙立合い演説会予定

- ▲18日(火) 黒川公民館(14時)  
波多津公民館(16時)  
南波多公民館(19時)
- ▲19日(水) 大川公民館(14時)  
松浦公民館(16時)  
二里公民館(19時)
- ▲20日(木) 東山代公民館(14時)  
山代公民館(16時)  
市民会館(19時)

◎選挙についての問い合わせは伊万里市選挙管理委員会へ  
(☎③2111内線470)



## あなたの投票所は

投票時間 午前7時～午後6時

投票区	投票所	投票区域
伊万里第1	伊万里市民会館	伊万里町甲・乙、松島、下松島、脇田、平山、岩立、木須東、蓮池町、中井樋、陣内、二里町東八谷裾
伊万里第2	牧島小学校講堂	木須西、本瀬戸、中通、早里、漁港、山代町釘島
伊万里第3	大坪小学校講堂	上古賀、下古賀、六仙寺、祇園町、柳井町、白野、永山、屋敷野、東円、西円、栄町
伊万里第4	伊万里市役所	渚、富士町、新天町（中井樋を除く）、立花台地
伊万里第5	大川内小学校講堂	岩谷、小石原、市村、市山、大川内山、正力坊、吉田、福野、平尾
黒川第1	黒川公民館	福田、浦潟、干潟、大黒川、奥野、塩屋、小黒川、浦分、黒塩、椿原、名村団地
黒川第2	立目分校	清水、横野、立目、牟田
黒川第3	東黒川小学校講堂	花房、畑川内、長尾、真手野
波多津第1	波多津公民館	畑津、内野、煤屋、馬蛤潟、辻、浦
波多津第2	波多津東小学校講堂	木場、開拓、筒井、井野尾、田代、板木、津留主屋、中山
南波多第1	南波多公民館	古川、笠稚、小麦原、大川原、府招下、府招上、原屋敷、井手野
南波多第2	波多川小学校講堂	高瀬、大曲、水留、古里、谷口、重橋、開拓
大川	大川公民館	宿、川西、駒鳴、片竹、戸石川、山口、井手口、東田代、長野、川原、相の谷、立川
松浦	松浦公民館	東分、上原、下分、下平、梅岩、岳坂、村分、藤の川内、久良木、宿分、上分、中通、金石原
二里第1	川東公民館	西八谷裾、川東
二里第2	二里公民館	内の馬場、金武、大里、福母
二里第3	作井手公民館	作井手、古子、中田、吉野、川内
東山代第1	東山代公民館	里、長浜、日尾、天神、脇野、浦川内、東大久保、福和
東山代第2	大久保保育園	大久保、福住、国見
東山代第3	滝野中学校講堂	下分、滝川内、川内野、辻の堂、日南郷
山代第1	楠久公民館	楠久津、楠久、福川内、城、峰、鳴石
山代第2	山代公民館	久原一区、久原二区、久原三区
山代第3	山代西小学校講堂	浦の崎、川南、立岩、西分、向山、西大久保、野々頭、東分



—みんなの健康を願って—

# 充実した市民病院へ

—昭和54年度改築完成を目指す—

市民病院の改築は、昭和54年10月完成を目指して52年度から3か年計画で事業に着手しました。

工事の年度別計画は、52年度ですすでに用地買収、設計委託を完了しており、53年度から病院改築工事に入り54年度で完成させることになっています。

総事業費は7億8,990万円で財源としては全額国からの長期債を借入れ、直接市税を充当するものではありません。

建物は鉄筋コンクリート造り3階建（一部4階）延面積3,297平方メートルです。

1階は診療部門と管理部門、2階が一般病床45床、3階が結核病床26床、4階は機械室になります。このほか、医師住宅3棟と職員住宅1棟も建設します。診療科目はこれまで通り、内科、外科、小児科、胃腸科、呼吸器科、循環器科、放射線科の7科目です。

新しい病院の中には、健康管理センターや老人、身体障害者の方の機能回復を図るためのリハビリ施設なども設置する計画です。

また、医師は常勤4人、非常勤3人を置き救急医療の体制も確立します。

診療機能については、地域医療機関の中核として高度医療施設の整備が望まれており、その役割を果たすため、交通事故、脳腫瘍、脳血管障害など頭部損傷の診断を確実にするためのコ

ンピューター X線診断装置や心電図自動解折システム、精密検診装置などの導入を計画しており、成人病対策に万全を図ります。

なお、環境に恵まれたさわや

かな郊外病院を目指す市民病院は、交通の不便を解消するため川東橋から市民病院、国見中学校前を通る市道の改良舗装工事を行います。

さらに、バスセンターを中心にバス利用者のためのバス運行計画、十分な広さの駐車場確保など準備を急いでいます。

<p><b>改築までのあゆみと 今後の対策</b></p>	<p>の答申を受け、52年9月の定例市議会で現在地に改築することが決まりました。</p>
<p>昭和28年に二里村立病院としてスタート、29年4月伊万里市誕生と同時に市民病院となり現在に至っており、建物が木造のため老朽化が進み改築が待たれていました。</p>	<p>市民病院は、老朽化した建物設備の不備などから医師の確保が十分でなく、そのため市民の利用も伸びず赤字経営になっています。</p>
<p>すでに、昭和50年に厚生省病院管理研究所に病院診断をたのみ、立地条件、建物、施設、医師の確保などの診断所見を受けました。</p>	<p>その赤字対策として、国からの公立病院事業会計財源としての特別交付税などをあてて運営に努力しています。</p>
<p>市は、市民病院運営審議会（吉原羊一郎会長＝20人）に病院再建案を諮問、改築が必要と</p>	<p>これからは、新しい近代的な施設の建設とともに、医療設備や医療スタッフの充実により、利用者の増加が期待され、赤字の解消となり、病院経営の健全化が進められることとなります。</p>

## 「生きている松浦党」

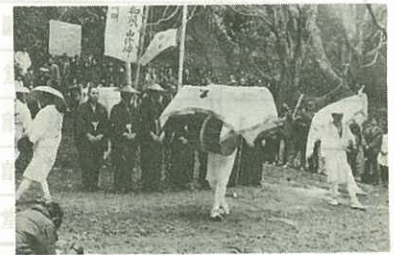
NHK「九州'78、山ノ寺でロケ

NHK「九州78、「生きている松浦党」の現地ロケが、3月12日、東山代町川内野の松浦源氏創成期遺跡「山ノ寺」で行われ、市内の松浦党子孫をはじめ平戸、松浦、肥前、呼子などからも一族や郷土研究家約500人が集まり、先祖を語り合いました。

ロケには、唐津市唐房の漁師による大漁踊りや佐賀県指定無形文化財・脇野の大念仏も披露

され、録画されました。

放映は、4月13日午後7時30分からと4月15日午前11時20分からの30分間行われることになっています。





いま伊万里で



▲伊万里食鳥センター落成 3月25日に同センターで落成式が行われ、4月1日から操業に入ります。(長浜工業団地3・24)

◀伊万里焼会館がオープン 伊万里焼工業協同組合の総合展示場が完成、4月1日にオープン。(3・24)



▲国見台で県レクリエーション大会 国見台運動公園を中心にハイキング・オリエンテーリング・民踊などが行われ、2,500人が参加しました。(3・12)



▲火災予防週間に防ぎょ避難訓練 ハシゴ車も出動して救助活動と、避難袋で脱出訓練を行いました。(伊万里玉屋3・1)



▲プロ野球オープン戦 クラウンライターライオンズと日本ハムファイターズ戦が行われました。(国見台野球場3・14)



◀板木でシタケの種駒打ちが盛ん シタケの産地板木では今シタケ菌の種駒打ちが盛んです。(3・17)



▲山代東小学校体育館が完成 総工費6,095万円をかけ緑の屋根のきれいな体育館が完成、3月12日に落成式が行われました。(3・24)



## 『私たちが見た中国』「九州青年の船」に参加して



川元和弘さん



吉田正男さん



山口龍介さん

昨年9月9日から、日中友好「九州青年の船」団員（団長以下423人）として2週間中国を訪問しました。

訪問したのは、首都の北京、旅大（旅順と大連の合併市）、瀋陽（旧奉天）の3都市です。

これら中国北部に位置する都市はそれぞれに特色を持っています。参観活動をおりませお話ししたいと思います。

①北 京 ここは昔から政治の中心地として繁栄してきたところで、今でもその位置はゆるがず経済や文化の面でも中国の中心です。人口約700万の大都市ながら、私達の思っていたよりはずっと落ち着いた感じでした。

朝夕のラッシュも道路はほとんどが自転車であふれ、自動車の往来はそれ程多くありませんでした。ここで市立病院を訪ね、針麻酔による手術に立ち会いました。さらに歴史博物館や天安門、故宮を参観しましたが北京滞在中の圧巻は、なんと言っても「万里の長城」見学でした。歴史の教科書に出てくる写真そのままの、雄大な展望が眼前に広がり延々と続く長城に立った時は思わず「うわぁっ！」と歓声を上げてしまいました。

また、完成したばかりの毛主席記念堂で遺影を拜謁できたこと

とも幸運でした。

②旅 大 ここは港湾都市で駅前多くの日本人が住んでいたということで、どことなく日本に似た風情がありました。旅大での参観は小・中・大学の教育機関が多かったのですが、小学校からの徹底した思想教育と実弾射撃訓練には驚き、どんな態度でこの場に臨めばよいのかとまどうこともありました。しかし町の人々は私達の乗ったバスに向って、母親に抱かれた幼児から木陰にたたずむ老人まで誰もが手を振って歓迎してくれ、この町を鮮明に印象づけました。

③瀋 陽 中国東北部を代表する重化学工業都市で、町には労働者があふれ私達のバスを横目

に見ながら勤務先へ急ぐ人波に日本の朝の光景が思い出されました。瀋陽では機械工場や郊外の人民公社を訪ねる機会に恵まれました。国の生産活動の基礎を農業にしている中国ではその中心となる組織が人民公社です。広大な農地と整備された灌漑施設、大型機械の導入、公社が独自に持っている農器具工場など、すべての職場において共同作業がなされていました。賃金は月50～70元（日本円で7,000～1万円）ということです。物価が安く安定しているので生活に困ることはないそうです。

福祉面でも公社内に病院、劇場、体育館などが建てられており、一つの地域社会を形成し維持できる機能を備えていました。しかし、私達の感じでは農村部と都市部を比較するとまだ賃金や生活水準に差があるように思えました。今回の訪中で新生中国の若いエネルギーを十分感じる事ができました。10年後、20年後には、もっとすばらしい中国になっていることでしょう。

## ごみ収集方法が変わりました

### 《戸別集収 → ステーション集収へ》

市環境衛生課（☎③2111内線285）

4月1日からごみ収集を戸別集収からステーション集収にします。

車の増加のため、戸別集収は交通渋滞をひきおこし市民の皆さんにたいへん迷惑をかけています。

こうした事情から、ごみ収集の円滑を図るためにごみを出す場所を各町内数か所に設置していただくようご協力をお願いします。

るものです。

ごみを搬出する時には次のことにご注意ください。なお、不燃物については毎週土曜日（一部水曜日）収集が2週間に1回の収集になります。

▲決められた場所・日時を必ず守り、前日から出さないようにしてください。

▲燃えないごみについてはこれまでの毎週収集から2週間に



→ 1回の収集になります。

▲燃えるごみと燃えないごみをハッキリ区別し、袋をまちがえないようにしてください。

▲残飯類はよく水切りしてから出してください。

▲粗大ごみのテレビやミシンなどは解体してから出すようにしてください。解体できないごみは直接不燃物捨場までお持ちください。

収集する区域と時間は次のとおりです。

【水田優収集区域 ☎80282】

●燃えるゴミの収集区域

▲月曜、木曜日 ▷名村団地 (6:30~7:30)▷上黒尾町・相生町・船屋町・上松島町・下松島町 (7:00~8:00)▷脇田・蓮池町国道南側 (8:00~9:00)▷栄町・陣内 (9:00~10:00)▷東円蔵寺・西円蔵寺・榎屋・柿内 (10:00~11:00)▷柳井町・白野・祇園町・上伊万里駅付近 (11:00~13:00)

▲火曜、金曜日 ▷立花台地・新天町・駅南・坂口台地 (6:30~7:30)▷西円蔵寺塩塚・金谷・新天町・駅北・釘島住宅 (7:30~8:30)▷富士町・渚 (8:30~9:30)▷本町1・2・3丁目 (9:30~10:30)▷東新町・上仲町・仲町・幸善町・今町・立町・元町・朝日町・浜町 (11:00~13:00)

▲水曜日 ▷浦 (6:30~7:30)▷漁港・浦分・塩屋・木須東・木須西・木須住宅 (7:00~8:00)▷本瀬戸・中通り (8:00~9:00)▷早里 (9:00~10:00)▷市村・市村住宅・市山・平尾

福野・六仙寺 (11:00~13:00)▷吉田・正力坊・大川内山 (12:00~14:00)

●燃えないゴミの収集区域

▲第1、第3土曜日 ▷浦・浦分・塩屋・名村団地・漁港 (6:30~7:30)▷本瀬戸・中通り・早里・木須東・木須西・木須住宅 (7:30~8:30)▷上松島町・下松島町・相生町・船屋町・上黒尾町・陣内・脇田・栄町・柳井町・祇園町・上伊万里駅付近 (8:00~9:00)

▲第2、第4土曜日 ▷東新町・六仙寺・平尾・市村・市村住宅・市山・福野・吉田・正力坊・大川内山・東円蔵寺・西円蔵寺・榎屋・柿内 (6:30~7:30)▷本町1・2・3丁目・幸善町・上仲町・仲町・元町・立町・今町・浜町国道南側 (9:00~10:00)▷西円蔵寺塩塚・金谷・新天町・立花台地・渚・富士町 (10:00~12:00)

▲第5土曜日 ▷上記区域以外  
の不燃物を収集します。

【河原勘次収集区域 ☎30112】

●燃えるゴミの収集区域

▲月曜、木曜日 ▷川東・大里・作井手・吉野 (6:30~7:30)▷東八谷搦・西八谷搦 (8:00~9:00)▷蓮池町国道北側・中井樋 (9:00~10:00)▷上土井町・下土井町 (10:00~13:00)▷本町4丁目・搦町 (12:00~14:00)

▲火曜、金曜日 ▷鳴石 (6:30~7:30)▷川南・向山・浦の崎 (7:00~8:00)▷楠久・久原1・2・3区 (8:00~9:00)▷楠久浦 (9:00~10:00)▷国見・大久保・東大久保 (11:00

~13:00)▷里・福和・福住 (12:00~14:00)

▲水曜日 ▷府招・井手野 (6:30~7:30)▷大曲 (7:00~8:00)▷宿・片竹・立川・駒鳴 (8:00~9:00)▷東分・下分・下平宿分・金石原 (9:00~10:00)▷上古賀・下古賀 (10:00~11:00)▷天神・長浜・勝田 (11:00~13:00)

●燃えないゴミの収集区域

▲第1、第3土曜日 ▷府招・井手野・大曲 (6:00~7:00)▷立川・宿・片竹・駒鳴 (7:00~8:00)▷東分・下分・下平宿分・金石原 (8:00~9:00)▷上古賀・下古賀 (9:00~10:00)▷長浜・勝田・里・大久保・東大久保・国見・福和・福住・楠久・楠久津 (11:00~13:00)

▲第2、第4土曜日 ▷浦の崎・向山・川南 (6:00~7:00)▷久原1・2・3区・鳴石 (7:00~8:00)▷本町4丁目・搦町・上土井町・下土井町・蓮池町・国道北側・中井樋 (9:00~10:00)▷東八谷搦・西八谷搦・川東大里 (11:00~13:00)▷金武・作井手・吉野 (12:00~14:00)

▲第5土曜日 ▷上記区域以外  
の不燃物を収集します。

※( )内の時間はごみを出していただく時間です。





# 歴史民俗資料館の常設展案内

## 館収蔵の資料を展示

「伊万里の歴史と文化展」を6月30日まで開いています。

（これまで、市民の皆さんから寄贈や寄託によって資料館が収蔵している資料の殆んどを展示しました。ご来館ください。）

### △展示物

- ・考古資料 李路寺、銭亀、夏崎、小島古墳などの出土品や石斧、すり石、貝塚など
- ・歴史資料 仏像、観音像、

踏み絵、土人形、絵地図、山寺出土品、石造文化財など

- ・民俗資料 農器具、製塩用具、鍛冶屋用具、神棚、生活用具など
- ・焼物 伊万里焼系
- ・記念物 カブトガニの標本、木の葉・貝の化石、埋れ木、珪化木など
- ・その他 明治23年から昭和10年までの日記、日清・日露大東亜戦争当時の新聞など

## 4月の市民会館行事

- 6日（木）14時～18時
  - ・ポーランドサーカス（伊万里商店街連合会）
- 9日（日）13時～18時
  - ・三波春夫ショー（松浦市江頭鐵男）
- 11日（火）9時～17時
  - ・新入社員研修会（伊万里商工会議所）
- 15日（土）9時～17時
  - ・伊万里陶業組合総会
- 16日（日）9時～12時
  - ・映画「日本昔ばなし」（長崎市 神代豊暢）
- 20日（木）19時～21時
  - ・伊万里市長選挙立合い演説会（市選挙管理委員会）
- 23日（日）6時～22時
  - ・伊万里市長、市議会議員補欠選挙投開票（同）
- 25日（火）9時～12時
  - ・鉄砲太郎ショー（キヨハル芸能）
- 30日（日）9時～17時
  - ・えびねらん展示会（松島正修）

## 成人病・妊婦健康相談

午前中は成人病相談、午後は妊婦健康相談です。

- ▲日時と場所
- 4月11日（火）東山代公民館  
波多津公民館
- 18日（火）黒川公民館  
南波多公民館
- 25日（火）山代公民館  
松浦公民館
- ▲成人病相談は血圧測定、検尿、高血圧の予防など。
- ・時間 10時～11時30分
- ▲妊婦健康相談は妊婦、分娩、産褥期の保健衛生など。
- ・時間 13時～14時30分
- ◎母子手帳をご持参ください。

## 県営住宅

### 入居者募集 入居予備者

県営住宅岩栗ヶ丘（栄町）第二団地第1種住宅（52年度建設鉄筋コンクリート4階建3LK）の5月1日入居者5戸および脇田、木須、岩栗ヶ丘、立花各団地の第1種住宅30戸、第2種住宅20戸の入居予備者を次のとおり募集します。

▲受付期間 4月5日～18日

▲抽せん 4月20日午後1時

伊万里総合庁舎会議室  
※家賃、入居資格、申し込み手続き、その他詳しいことは伊万里土木事務所建築係にお尋ねください。（☎③ 4151）

## 無料人権相談所を開設

伊万里人権擁護委員協議会は次のとおり「無料特設人権相談所」を開きます。

人権・相続・家庭・借地借家不動産・その他の問題について相談をお受けします。

お気軽におでかけください。

▲日時 4月25日（火）

午前10時～午後3時

▲場所 松浦公民館

▲相談担当

- ・人権擁護委員 原口トミ氏
- ・法務局伊万里支局職員

## 献血運動に協力しよう

4月13日（木）・ユニード前駐車場で

伊万里ライオンズクラブ・伊万里青年会議所は、県の移動採血車「しろはと号」による採血を、4月13日（木）午前10時から午後3時まで、ユニード前駐車場で行います。採血前に医師が健康診断を行い、無理な採血はしません。安心して献血に協力しましょう。



## 住みよいまちづくりに

### 新生活運動の広がりを

市は、新生活運動のあり方を根本的に考え直し、健康で明るく住みよい町にするため、市民総ぐるみでこれまで以上に三つの課題に取り組みます。

この課題を地域の中に定着させるには市民皆さんの協力がなければ実行できません。

ご協力をお願いします。

#### ◎ 明るい近隣社会づくり運動

▲各種の研修会・講座・集会などを開催し集団相互の連携に

### 佐賀県消費生活通信講座

#### 昭和53年度受講生募集

佐賀県県民生活課と消費生活センターは、家庭にしながら消費生活について学び、くらしに役立つ知識を身につけ、賢い消費者になろうと、昭和53年度消費生活通信講座の受講生を次のとおり募集しています。

▲**応募資格** 消費生活問題に関心を持ち、学習意欲のある人で男女の別は問いません。

(52年度受講生を除きます)

▲**募集人員** 伊万里市の定員は70人で先着順に受付けます。

▲**受講料** 無料です。(ただし郵便料の一部を負担とします)

▲**学習期間** 5月から10月までの6か月間。

▲**学習方法** テキストによる学習とスクーリングによる学習

▲**募集締切** 4月10日

▲**申し込み・問い合わせ先**

各公民館または生活相談課へ

(☎③2111内線225)

つとめる。

▲地域課題を自主的・継続的に研究討議し必要に応じて地域の具体的な問題を他のグループにも呼びかけ共同で討議する。

#### ◎ 住みよい環境づくり運動

▲皆さん自身で地域の生活環境の現状を点検し自益や相互協力の態勢をとる。

▲住みよい環境づくりについて集会ごとに積極的に呼びかけ協力を求める。

▲各種団体・グループ・地域の皆さんとの話し合いや意見を求め共同で環境の整備にあたる。

#### ◎ 生活改善運動



2月

貿易額は4億2,700万円  
で1月に引続き輸入だけ。

#### 輸 入

原木4億2,400万円と船舶機器300万円。

#### 船舶の入港

日本船1隻、外国船11隻  
(パナマ10・リベリア1)  
の計12隻で1月より2隻増  
(唐津税関支署伊万里出張所)

▲日常の消費生活を合理化し浪費をさけ節約につとめる。

▲冠婚葬祭費の節減を図る。

▲廃棄物の回収・再利用を促進する。

▲定期的に集会を開いて改善運動の徹底を図り各種団体・グループの協力を求める。

### ——くらしの知恵——

## 古紙は町の森林資源です

紙の原料は、木材(パルプ原木・チップ)と、もう一つは古紙です。

その古紙は、紙の原料としてみた場合、1トンで高さ8メートル、直径16センチの原木20本分に相当します。

あなたの家で購読している新聞を1年間ためたとすると約50キロになり、これを紙の原料として再生利用した場合、貴重な森林資源を、つまり原木1本を伐採しなくてすむ勘定になる訳です。

現在、私たちの使っている紙製品の4割は古新聞や古雑誌、ダンボール屑などの回収古紙で

まかなわれています。

主なところでは、家電・繊維製品などの包装材料をはじめ、靴やワイシャツ、洗剤などの厚手の箱、書籍の外装ケース、絵本、アルバムなどのほか、チリ紙、トイレットペーパー、新聞紙、週刊紙にいたるまで数多くの製品に古紙が使われています。このように古紙の利用は、ゴミ戦争を緩和してくれるほか、木材から紙にする場合に比べパルプの生産工程が省けますので電力や水の使用料が少なくすみ、いろいろな利益を生み出します。

古紙は大切にしましょう。



# 市民のページ

## —九電だより—

### 鯉のぼりは 電線にふれないように

さわやかな初夏の風物詩鯉のぼりも、電線の近くで泳がせると思わぬ感電事故につながりかねません。

事故防止のため、次のようなことにご注意ください。

- ・電線にふれる場所に、鯉のぼりを立てないでください。
- ・鯉のぼりの支柱を立てたり倒したりするとき、電線にふれないよう注意してください。
- ・もし、鯉のぼりが電線・電柱に引っかかった場合は、自分で電柱に登ったり物干しざおでとりはずしたりせず、九電伊万里営業所へご連絡ください。(☎③2194)



老人の健康診断については、老人福祉法の規定によって、市内の医院、病院の

## —郵便局だより—

### 昭和53年度 特殊切手発行案内

- 53.4.20・切手趣味週間(寛文美人図)
- 4. 自然保護シリーズ18(サクラソウ)
- 5.13・第69回国際ロータリー東京大会記念
- 5.15・第23回国際眼科学会記念
- 5.20・国土緑化運動
- 6.21・第61回ライオンズ国際協会年次大会記念
- 6. 自然保護シリーズ19(コウシンソウ)
- 7. 相撲絵シリーズ第1集
- 7. 自然保護シリーズ20(コマクサ)
- 8. ラジオ体操50年記念
- 8. 商工会議所100年記念
- 9. 証券取引所100年記念
- 9. 相撲絵シリーズ第2集
- 10.6・国際文通週間

- 10.14・第33回国民体育大会記念
  - 10.16・第14回国際整形災害外科学会議記念
  - 11.1・東京天文台100年記念
  - 11. 相撲絵シリーズ第3集
  - 12.1・昭和54年年賀
  - 12. 人権週間
  - 54.1. 相撲絵シリーズ第4集
  - 3. 相撲絵シリーズ第5集
- ※発行月日は変更される場合があります。また、この予定表以外にも発行されることがあります。
- 通信販売については、切手の意匠や料金などが発表されてから申し込みください。

### 人命救助者を捜しています!!

3月22日に伊万里市大坪町柳井町で発生した火災の時、歩けないお年寄りを猛煙の中から救出して下さった方を捜しています。心当たりの方は市消防署までお知らせください。連絡をお待ちします(③4311)



お答え

市民部福祉事務所長

市民健康診断に思う

一市民

市で行われている成人健康診断は六十四歳までが対象になっており、また、七十歳以上には医療費が全額助成されています。その中間にある六十五歳から六十九歳までの人に対する健康診断も是非実施していただきたいと思えます。

協力を得て、六十五歳以上の健康な方を対象に毎年九月十月に実施している老人健康診断があります。昭和五十二年度は十月十二日・十三日の二日間で行い、該当者へのPRは、広報いまり十月号でお知らせすると共に、老人クラブ連合会の各支部の会長さんを通じてもお知らせしています。

今年度の老人健康診断は九月か十月頃に実施する予定です。ぜひご利用ください。

また、老人福祉センター寿荘でも毎週火曜日午後一時三十分から二時頃まで、医師による健康診断を実施しています。内容は聴打診血圧測定などです。

お願い 企画課広報統計係 市民のみなさんからお寄せいただく意見の中に住所氏名が記入してないお便りがあります。くわしい事情を聞いています。返事をする場合に困っています。氏名を発表されると都合が悪い場合は(匿名希望)として住所氏名ははっきり書いてください。



次の方からご寄付をいた  
だきました。厚くお礼申し  
上げます。(敬称略)

緑化基金へ

◆香典返しを寄付  
。山口永久子(東山代町長  
浜 亡夫数雄)

社会福祉事業費へ

◆香典返しを寄付  
。齊藤恒作(大坪町下古賀  
亡父常次)

。前田知佑(伊万里町幸善  
町 亡妻暢子)

。池田直(南波多町原屋  
敷 亡父為次郎)

。井手節子(黒川町大黒川  
亡夫正敏)

。松本マツミ(黒川町浦瀧  
亡長男義一)

。坂口忠臣(黒川町大黒川  
亡父常一)

。岡山ヒチ(二里町金武  
亡夫清一)

。永尾久子(山代町東分  
亡夫三代司)

。釘町克孝(伊万里町元町  
亡養父源三郎)

。有田正行(山代町楠久  
亡義祖母吉永ヤス)

。森 忠次(大川内町平尾  
亡妻トミ)

。諸石勇次郎(瀬戸町漁港  
亡父政市)

。川原はん(大坪町白野  
亡夫忠次)

。古賀富佐夫(松島町上松  
島 亡父常助)

。大久保 坦(大川内町吉  
田 亡父富雄)

。池田時子(立花町塩塚  
亡母タネ)

。宮副マチ子(松浦町東分  
亡夫国治)

。横尾尊義(山代町立岩  
亡父栄一)

。福田一男(二里町南川東  
亡父萬一)

。飯田文次(二里町川東  
亡父末次)

。西田俊己(東山代町滝川  
内 亡父知一)

。堀田通夫(大川町宿 亡  
母リツ)

。葉山良樹(東山代町長浜  
亡母三代)

。田辺イク子(二里町八谷  
榻 亡夫静三)

。山口ソヨ(大川町立川  
亡夫正次)

。前田末子(南波多町大川  
原 亡夫正行)

。杉本茂助(波多津町浦  
亡父茂作)

。古竹定助(黒川町立目  
亡妻ミセ)

。宇良サヨ(東山代町長浜  
亡夫宗廣)

。田代ソテ(松浦町提川  
亡夫鉄次)

。野田行雄(脇田町栄町

亡父一男)

。山口松市(南波多町大川  
原 亡妻ノイ)

◆篤志寄付  
。五千元 松尾繁徳(立花  
町通り谷 拾得金待期満了  
につき)

。四千参拾円 浦山義光  
(山代町楠久)

。貳万円 岩橋 幸(松浦  
町山形 病氣見舞返し)

。貳万壹千参百円 荻野央  
子(福岡市 恵まれない子  
どもに)

ありがとう



ありがとうございました

屋町 亡夫吉之助)

。釘町克孝(伊万里町元町  
亡養父源三郎)

。大塚信子(瀬戸町中通  
亡夫昭男・波多津小指定)

。竹本照雄(黒川町椿原  
亡父作造・黒川小指定)

。池田国臣(南波多町高瀬  
亡父輝男・波多川小指定)

。力武龍己(脇田町平山  
亡父貞彦)

◆篤志寄付  
。壹万五千元 崎田ツヤ(黒  
川町横野ひ孫みすぎ誕生記念  
(累計一九六万五、〇八一円)

◆体育振興奨励基金へ  
。香典返しを寄付  
。前田知佑(伊万里町幸善  
町 亡妻暢子)

◆篤志寄付  
。老万円 中島絃一(新天  
町六五四)

◆国見台夜間照明建設資金へ  
◆篤志寄付  
。拾五万九千参百円 伊万  
里青年会議所 代表木寺秀  
樹(プロ野球チャリティー  
入場券の益金を)

伊万里津歴史公園  
建設資金へ

◆篤志寄付  
。老百万円 前田知佑(伊  
万里町幸善町)

◆水道事業緑化資金へ  
◆香典返しを寄付  
。竹本照雄(黒川町椿原  
亡父作造)  
。大坪地区公民館建設資金へ  
◆香典返しを寄付  
。中島一郎(大坪町下古賀  
亡母ソメ)  
。齊藤恒作(大坪町下古賀  
亡父常次)  
。松尾文男(大坪町永山  
亡父久五)  
。池田時子(立花町西円蔵  
寺 亡母タネ)  
。徳永ミツ子(立花町立花  
台地 亡夫甚喜)  
。大川内町公民館建設資金へ  
◆香典返しを寄付  
。森 忠次(大川内町平尾  
亡妻トミ)  
。南波多公民館へ  
◆香典返しを寄付  
。池田国臣(南波多町高瀬  
亡父輝男)  
。神田安次(南波多町重橋  
亡父伊右エ門)  
。二里公民館  
町づくり推進資金へ  
◆篤志寄付  
。五千元 桑原百合子(二  
里町大里)  
。東山代公民館  
施設整備資金へ  
◆香典返しを寄付  
。山口永久子(東山代町長  
浜 亡夫数雄)  
(昭和53・3・17現在)



# こどものページ

## ふるさとの文化を守って行こう

脇野子どもクラブのみなさん



無形文化財芸術能で知られている「脇野の大念仏」を守っていること、東山代町脇野子どもクラブのみなさん30人は、大念仏のときに使

らじ、の作り方を習いました。脇野の大念仏は、昭和34年3月20日に無形文化財に指定され、県下ではじめての文化庁指定も受けています。大念仏の踊りをおぼえるにはわらじづくりからと、蒲川区长さん(94戸)をはじめおばあちゃんたちにも指導を受けながら仕上げなわらじをつぎつぎに完成させました。(写真は脇野公民館でわらじづくりにはげむ子どもクラブのみなさん・3月26日)

私の郷土、それはたいへん深い意味があるような気がします。郷土は、この広々とした土地自体であり、私たちは日頃それを意識してはいません。さもなければそんな事はぜんぜん気にも止めず、毎日を送っているのではないでし

私は、小さい頃から父や母と田んぼなどに出かけ、花を摘んだり虫をつかまえたりして遊びました。こんな事も今となつては幼かった時の思い出となつたのですが、今考えてみて、あの頃のいろいろな体験は私が知らなかった事をたくさん教えてくれて、今日の私にとってもプラスになりました。

「郷土」という言葉を耳にする時、私はいつも鮮やかな緑に満ちた山と、魚が気持ちよさそうに泳いでいる川を思い浮かべ、とてもさわやかな気持ちになります。私の住んでいる町は、私にとつてとてもすばらしい町です。交通や商業などはあまり栄えていなくて農業中心の町ですが、それなりにとても長い長所を持っていると思います。



### わが郷土を見つめて

伊万里高校1年 田中真由美

また、学校や家庭でいやな事があつたり、悲しい時、くやしき時にどうしてもそんな気持ちがおさまらなないと、私は気晴らしのために田んぼや山に行き、一人で考え、それでもまだ気持ちがむしやくし

どと、小さい時の思い出が浮んできて、忘れかけていた楽しい思い出をまたはつきりと心にとどめるのです。

私は時々、なにげなく自分の町をながめる事がありません。そうしてある場所を見てみると、あそこでなかく友だちとかくれんぼをしたなあ。とか、あの神社には子供会で初もうでに行つたものだなあ。とか、あの小川では兄弟で魚とりに行つたものだなあ。な

この作品は「青少年育成強調月間」に出品され高校の部で最優秀賞となった作品です。

私たちが町の発展と同時にこの気持ちのやすらぐ自然も大切にしなければならぬと思います。

やしていたら、思いっきり空に向かつて叫びます。そうするといやな事も少しぐらいは忘れる事ができるので。このような経験は誰にでもある事だと思ひます。そのように、私たちの郷土は不思議な力を持っています。私たちはこのすばらしい郷土を改めて見なおし、もっと住みよい町にしていかなければなりません。それが、今から大人になろうとしている私たちへの課題なのです。